

## 企画書作成時の注意点及び掲載内容

### 1. 技術研修期間について

- ・技術研修期間は2週間～3週間（15日程度）です。

### 2. 研修プログラムの構成について

- ・原則、研修プログラムは四国県内での実施とします。但し、四国県外での研修プログラムを盛り込むことで研修員の理解が深まり、研修成果の向上が見込める場合には他県への視察をご提案下さい。

### 3. 研修プログラムの構成について

- ・別添の「2023年度 JICA 四国青年研修実施予定案件 業務概要」及び下記に記したサイト等を参考に、研修対象国が抱える問題、課題を分析した上で研修プログラムをご提案下さい。

JICA ホームページ「各国における支援」

(URL:<http://www.jica.go.jp/regions/index.html>)」

外務省ホームページ「政府開発援助（ODA）国別データブック

(URL:<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/kuni.html>)」

- ・分析した内容を基に達成目標を決め、その目標を達成するために必要な知識、経験を得るためにどんな講義や視察が必要かを考え、日々のプログラム内容を具体的に設定して下さい。
- ・研修前半に当該研修分野の日本国レベルでの取り組みや組織についての説明があると、その後の県や市レベルの話の際に研修員の理解が深まります。  
(例) 県教育委員会での講義の前に文部科学省の説明がされているなど。  
→講義内容や視察先が一体どのレベルの話をしているのか、日本としての取り組みを伝えることが重要です。
- ・講義や視察だけでなく、当該研修分野に精通する日本人と意見交換できる場を設けることが望ましいです。
- ・休日、祝日等を利用し、研修員が四国の地域・文化について知るプログラムや市民の国際理解に繋がるプログラム等、全体のバランスを見ながら研修に盛り込むことが望ましいです。

### 4. 研修中の休日について

- ・1週間に1日（土曜もしくは日曜）は必ず自主研修日（休養日）としてください。

### 5. 研修監理員について

- ・研修実施にあたっては研修実施言語を話す研修監理員が配置されます。研修監理員は

講義及び演習・実習並びに見学・研修旅行時の通訳、引率、生活面でのサポート等を行います

#### 6. 別紙3「企画書（様式）」について

別紙3「企画書（様式）」の「4. 具体的日程案と成果」で日程案と個々の研修で期待される研修成果については別表にて具体的に記載して下さい。その際に考えていただく日程は、下記の黄色の期間の技術研修プログラム期間となります。白色の日程については既定のプログラムとなりますので、プログラムに含めたうえで作成ください。

### 青年研修：研修プログラム日程例 (参考事例：地方行政と地域開発、16日間)

技術研修 期間	日付		形態	内容
	日にち	曜日		
	9月25日	月		来日、東京宿泊
1	9月26日	火		午前：四国へ移動 午後：ブリーフィング、プログラムオリエンテーション（開講式）
2	9月27日	水	発表 講義	午前：インセプションレポート発表、意見交換 午前：生活改善アプローチの基本事項
3	9月28日	木	講義	日本の地方行政と地域自治、日本と対象国の行政システムの違い
4	9月29日	金	視察 講義	午前：県庁訪問、県議会の視察 午後：地方行政の課題と地域自治体との協力
5	9月30日	土	視察	午前：マルシェ見学、出店者との交流 午後：農村地帯の暮らしや道の駅の見学
6	10月1日	日		自主研修日（休養）
7	10月2日	月	視察 講義	午前：大学と地域自治体との連携事業先見学 午後：自治体の強みと大学連携の価値
8	10月3日	火	講義	生活改善アプローチ「主体性醸成のためのファシリテーション」
9	10月4日	水	講義 実習	午前：生活改善アプローチ「生活改善サイクルと分析ツール」 午後：生活改善アプローチ実習
10	10月5日	木	視察 講義	午前：農協集荷場視察、農協関係者と意見交換 午後：中間振り返り
11	10月6日	金	講義 実習	午前：アクションプラン作成と計画策定の手法 午後：アクションプランの作成（ドラフト）
12	10月7日	土	イベント 体験	大学生等の意見交換会、学生団体との異文化交流会 日本文化体験（寺社仏閣の見学等）
13	10月8日	日		自主研修日（休養）
14	10月9日	月	実習 講義	分析ツールを活用した視察先の分析、評価 最終振り返り
15	10月10日	火	準備	アクションプラン作成、発表準備
16	10月11日	水	準備 発表	午前：発表準備 午後：アクションプラン発表、評価会、修了式
	10月12日	木		四国から移動、帰国